

浜松医科大学

医歯薬マニュアル

記録編

主管係一同

2018

目次

- 日程とシフト (p.2)
- ルール (p.5)
- 記録方法 (p.6)
- 注意事項 (p.8)
- 緊急時の対応 (p.9)

記録編

記録係

◎田淵、生熊、川口、杉本、窪川、杉山、鈴木（ま）、滝澤、梁、栗田

日程

全体	時間	仕事	シフト
大会前日（23日）			
道場集合	15：00	持ち物の確認	
出発	15：30		
到着	17：00頃		
最終確認	17：30	仕事内容に関することや、当日の動きを確認。	全員
入浴等自由時間	-21：30		
仕事の確認	21：30	第一控えの椅子の場所の確認 机（4つ）と椅子（22脚）の準備	全員

大会1日目（24日）			
会場準備	8：00	記録用の机と椅子とセットの配置（記録セットは、記録台毎に袋にまとめておく）	全員
開場	8：30	木札（※立札は【進行】）の設置	
的付け（付け矢用）			
付け矢	9：30	旗上げ（浜医の付け矢中は交代で） 控えへの案内役	各射場1人 【受付】の指示に従う
的付け（矢渡し用）			
第二回主将会議 （オーダー表提出）	11：30		
開会式	12：00		
矢渡し			
的付け（団体戦用）		第一控えの椅子を設置 団体戦1、2立目の記録表を配布	
男子団体戦1立目	13：00	記録（1枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場2人 運搬；1人
女子団体戦1立目		記録（1枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場2人 運搬；1人
男子団体戦2立目		記録（1枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場2人 運搬；1人
女子団体戦2立目		記録（1枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場2人 運搬；1人
片付け （17：00完全撤収）	～17：00	第一控えの椅子、記録用の机と椅子を倉庫に片す 記録のセットを撤去	全員

記録編

全体	時間	仕事	シフト
大会 2 日目			
開場	9:00	記録用の机と椅子とセット、及び第一控えの椅子を設置	全員
的付け（団体戦用）	9:30	前日までに貰っていた記録表（団体戦 3 立目 3 枚、個人戦予選 1 立目 1 枚）の配布	
男子団体戦 3 立目	10:00	記録（3 枚） 運搬（【進行】【招集】【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；2 人（【進行】に渡す人、【招集】【掲示】に渡す人）
女子団体戦 3 立目		記録（3 枚） 運搬（【進行】【招集】【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；2 人（【進行】に渡す人、【招集】【掲示】に渡す人）
団体戦同中競射		記録（1 枚、枠のみの白紙に記入） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ（使わない射場は退出） 運搬；1 人
的替え（個人戦予選用）	12:00		
男子個人戦予選 1 立目	12:15	記録（1 枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；1 人
女子個人戦予選 1 立目		記録（1 枚） 運搬（【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；1 人
男子個人戦予選 2 立目		記録（2 枚）予選通過者に○ 運搬（【招集】【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；1 人
女子個人戦予選 2 立目		記録（2 枚）予選通過者に○ 運搬（【招集】【掲示】～）	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；1 人
的替え（射詰め用）	15:45		
男子個人戦決勝一手競射	16:00	記録（2 枚）全員の名前が入っているので、担当の場所のみ記入 運搬（【進行と招集】【掲示】） ※進行と招集が一緒に居る	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；2 人
女子個人戦決勝一手競射		記録（2 枚）全員の名前が入っているので、担当の場所のみ記入 運搬（【進行と招集】【掲示】） ※進行と招集が一緒に居る	記録；各射場 2 人ずつ 運搬；2 人
男子射詰め		旗上げ	各射場 1 人（使わなくな

記録編

		旗以外の記録のセットを袋に片す	った射場は退出)
女子射詰め		旗上げ	各射場1人(使わなくなった射場は退出)
的替え(遠近用)			
男女遠近		旗上げ	各射場1人(使わなくなった射場は退出)
的付け(納射用)		記録用の机と椅子、第一控えの椅子を倉庫に片す 記録のセットを撤去する	全員
納射	17:45		
閉会式			
第三回主将会議	18:30		
片付け(17:00 完全撤収)		手伝い	全員

東海医歯薬大会のルール

〈団体戦〉

- ・ 男子団体は5～6名×四矢×3立、順立、制限時間；9分
- ・ 女子団体は2～3名×四矢×3立、順立、制限時間；5分30秒
- ・ 男子は1分前コール、30秒前+同時打起しコール有
- ・ 女子は30秒前コール+同時打起しコール有
- ・ 同時打起し以降の着順も問う
- ・ 1立ごとに射場入れ替え有
男子：B | A → A | B
女子：D | C | B | A → C | D | A | B
- ・ 選手交代(立順の入れ替えも含む)は3立目から。ただし個人戦予選を兼ねない。
- ・ 一、二立目は個人戦予選を兼ねている。引き直し不可。
- ・ 同中競射が発生した場合、3立目の立順で行われる。立ち順変更は認めない。
- ・ 同中競射各人1本で行われる。射場には四矢を持って入る。
- ・ 3位までを表彰
- ・ 決定戦が複数発生した場合は、順位の低い決定戦から行う。

〈個人戦〉

- ・ 予選通過条件…男子：8射5中、女子：8射4中
- ・ 団体戦で個人戦予選通過条件を満たさなかった選手は引き直しをしない。
- ・ 決定退場
- ・ 予選は三人山立ち、決勝は乱射
- ・ 予選通過者が13名以上の場合は一手競射を行う。(12名以下の場合は1段目は一手で、2段目以降は13名以上なら一手で、12名以下なら1本競射)
- ・ 決勝9段目以降は小的で行う。ただし、8段目が的中でない場合は、9段目以降でも的中になるまで通常的小的を用いる。
- ・ 遠近の人数が10人以上の場合は一本競射を行い9名以下にしてから遠近を行う。
- ・ 6位までを表彰
- ・ 射技賞は男女各1名
- ・ 決定戦が複数発生した場合は、順位の低い決勝戦から行う。

〈呼称の確認〉

- ・ 前6的を第一射場、後6的を第二射場と呼ぶ
- ・ 仕切り棒で4射場に区切られた場合は、前から第一射場、第二射場、第三射場、第四射場と呼ぶ。
- ・ 的は、6人団体の場合、前から大前、二的、三的、四的、落前、落と呼ぶ
- ・ 的は、3人団体の場合、前から大前、中、落と呼ぶ。
- ・ ○立目△番立という言い方に統一する。

記録編

記録方法

1. 入場した選手のゼッケン番号を大前から順に確認する。射手に変更がある場合は、【掲示】から射場【記録】に2部変更表が届くので、第1射場、第2射場で確認する。団体戦の同中競射及び個人戦の一手競射以降は記録表が無いので、枠のみの記録表に的中を記す。

2. 行射中は、看的板を参考にして記録表に黒ボールペンで○×を記入。訂正は黒のボールペンで二重線を引き、赤のボールペンで新たに記入する。

※ 担当射場にて以下の事態が起きた場合は速やかに【進行】に報告し、【進行】が【的場】に連絡する。

①失 ②盗的 ③はけ当たり ④矢道に矢がささる

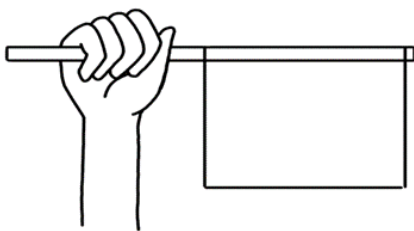
⑤その他【記録】が的場に連絡するべき問題が発生したと判断した場合

※ 判断不能などで看的板に表示がない場合は、空欄にする。遅れて（次の射手の看的がでて）、表示されても記入せずに、行射終了後再確認する。

※ 介添えなどから確認などを含め何か言われたら、忘れないように机上のメモに書く。

3. 行射が終了したら、射場毎に白旗を上げる。ただし、団体戦では団体ごとに白旗を上げる。つまり、男子団体では、第1射場、第2射場でそれぞれ1本ずつ白旗を上げることになる。また、女子団体戦の時は、第1、2、3、4射場でそれぞれ1本ずつ白旗をあげることになる。旗は手をしっかり伸ばして上げる。

※旗の上げ方



的場の赤旗が出たら、白旗を下げる。

☆ 再確認が無い場合

矢取りの出す的中表示と自分の記入に違いがないか確認し、問題がなければ白旗を上げる。

※以下の場合には的中の再確認を行う。

①介添え又は選手から確認の要請があった場合 ②看的と的中が異なる場合

③看的が遅れて（次の射手の看的が出て）、表示された場合

④その他【記録】が再確認を必要と判断した場合

※介添えからの申告がなかった場合は再確認を行わない。

※介添え不在の場合は【記録】が臨機応変に対応する。

☆ 1 的のみ再確認がある場合

i. 【的場】のトランシーバー係が確認を終えて手を上げたら赤旗を上げる。【進行】が介添えに再確認の

記録編

的の有無を聞くので、【記録】もそれに合わせて共に確認をする。【進行】がトランシーバーで【的場】に的中の確認を行う。的（てき）の呼び方は二的（にてき）に統一するので注意する。

- ii. 「第 射場、 、 中です。」を聞いたら、**赤旗**を下ろす。再々確認が必要な場合は**赤旗**を上げて再々確認する。再確認が終了した場合は**白旗**を上げる。記録の訂正より、旗の上げ下げを優先すること。

※看的表示は直さないで、矢取りの的中表示をもとに記録を付ける。

☆ 複数の再確認がある場合（2的の確認として説明する）

- i. 【的場】のトランシーバー係が確認を終えて手を上げたら**赤旗**を上げる。【進行】が介添えに再確認の的の有無を聞くので、【記録】もそれに合わせて共に確認をする。【進行】がトランシーバーで的の中の確認を行う。的（てき）の呼び方は二的（にてき）に統一するので注意する。
- ii. 1つ目の訂正「第 射場、 、 中です。」を聞いたら**赤旗**を下ろす。再々確認が必要な場合は**赤旗**を上げて再々確認する。問題が無い場合は**白旗**を上げてすぐに下ろし、**赤旗**を上げて2つ目の的の確認に移る。記録の訂正より、旗の上げ下げを優先すること。
- iii. 2つ目の訂正「第 射場、 、 中です。」を聞いたら**赤旗**を下ろす。再々確認の必要がある場合は**赤旗**を、再確認が終了したら**白旗**を上げる。記録の訂正より旗の上げ下げを優先すること。

※ 確認が必要とされた矢が2本以上あり、何本目が的中だったのか速やかにわからない場合（【記録】が覚えていない且つ介添えに聞いても分からない）は、的中数を合わせることを最優先する（机上の紙にメモする）。その後、【進行】に連絡し、矢取り後【進行】が的場に確認を取る。

4. (再確認等が済み、)記録が確定したら全射場に白旗が上がる。
【進行】の「ありがとうございました。矢取りをお願いします。」を合図として、白旗を下げる。
【進行】が『矢取りをお願いします』と言った後、記録は一切変更してはならない。
5. 記録表的的中数の欄に各選手の的中数・合計的中数を黒のボールペンで記入する。
6. 記入済みの記録表を【掲示】に渡す。

記録編

注意事項

<団体戦>

[時間計測について]

- ・ 【進行】の「行射を開始してください」という「い」のアナウンスと同時に計測を開始する
- ・ 的ずれ、横矢等の発生時の対応は、以下「緊急時の対応」に示すので、確認すること

[記録用紙の記入方法]

- ・ 通し矢、皆中の際は通常通り二重丸を書く
- ・ 矢（弦音）の着順を問うので、追い越しの場合は○×の横に黒で「オ」と書く
- ・ 同時打ち起こしになっても、矢の着順を問う。追い越しをした人は個人戦の結果としては○でも、団体戦の結果としては×になる
- ・ 時間切れの場合は○×の横に黒で「ジ」を記入する。時間切れの矢は個人戦の結果としては○でも、団体戦の結果としては×になる
- ・ 的中数は、個人の欄には個人の的中数を、団体の総的中数の欄には団体としての総的中数を記入する

<個人戦>

- ・ 個人戦予選は決定退場だが、弓を引いていない部分は斜線を引く（記入忘れではないことの証明）
- ・ 個人戦予選通過者の番号には丸を付ける
- ・ 個人戦決勝では【進行】が記録用紙を確認して次の指示を出すので、迅速に行えるよう協力する
- ・ 遠近発生時に遠近出場者が6人以上の場合(的の数以上の出場者がいる場合)、遠近を行う前に射詰で使った椅子を片付ける
- ・ 射詰では、一手なら的中 0→残、1→羽分け、2→束中で、1本競射なら的中 0→残、1→的の中と的中の表現が変化するので注意する

記録編

緊急事の対応

① 的ずれ

- i. 【進行】にそのことを伝え、行射を一時停止させる。そのとき同時にストップウォッチの時間も止める（「新たな取懸けをお控えください」の「い」のアナウンスが終わった瞬間に止める）。
- ii. 担当射場で行射が止まったら、白旗を上げる。その後、【進行】からの指示で看的が的を替えるがその直前^的的中確認(地声)があるので通常と同様に的中を確認する(行射中と同じ)。
- iii. 「行射を再開してください」の「い」のアナウンスとともに、ストップウォッチでの時間の計測も再開する。

② 横矢

- i. 選手の介添えが申し出てきた場合(介添えがないときは【記録】が判断し、【進行】に選手に聞いてもらう)、【進行】に伝え行射を一時停止させ、同時にストップウォッチの時間も止める（「新たな取懸けをお控えください」の「い」のアナウンスが終わった瞬間に止める）。
- ii. 担当射場で行射が止まったら、白旗を上げる。進行の指示で看的が横矢の処理をするが、このときの的中の確認はない。
- iii. 「行射を再開してください」の「い」のアナウンスとともにストップウォッチでの時間の計測も再開する。

③ 弓が走る

選手が自分の手でとれる範囲に弓がある場合は何もしなくてよい。

- i. 矢道に弓が走ってしまった場合は進行が競射を止めるので、同時にストップウォッチも止める（「新たな取懸けをお控えください」の「い」のアナウンスが終わった瞬間に止める）。
- ii. 担当射場で行射が止まったら、白旗を上げる。
- iii. 「行射を開始してください」の「い」のアナウンスとともに、ストップウォッチでの時間の計測も再開する。

④ 弦切れ

弦切れの発生した射場のみ時間を1分間延長する。基本的に記録係はそれ以外のことをする必要はない。